

WORDPRESS講座

マニュアル③

サイト公開前作業

&

ちよつと応用編

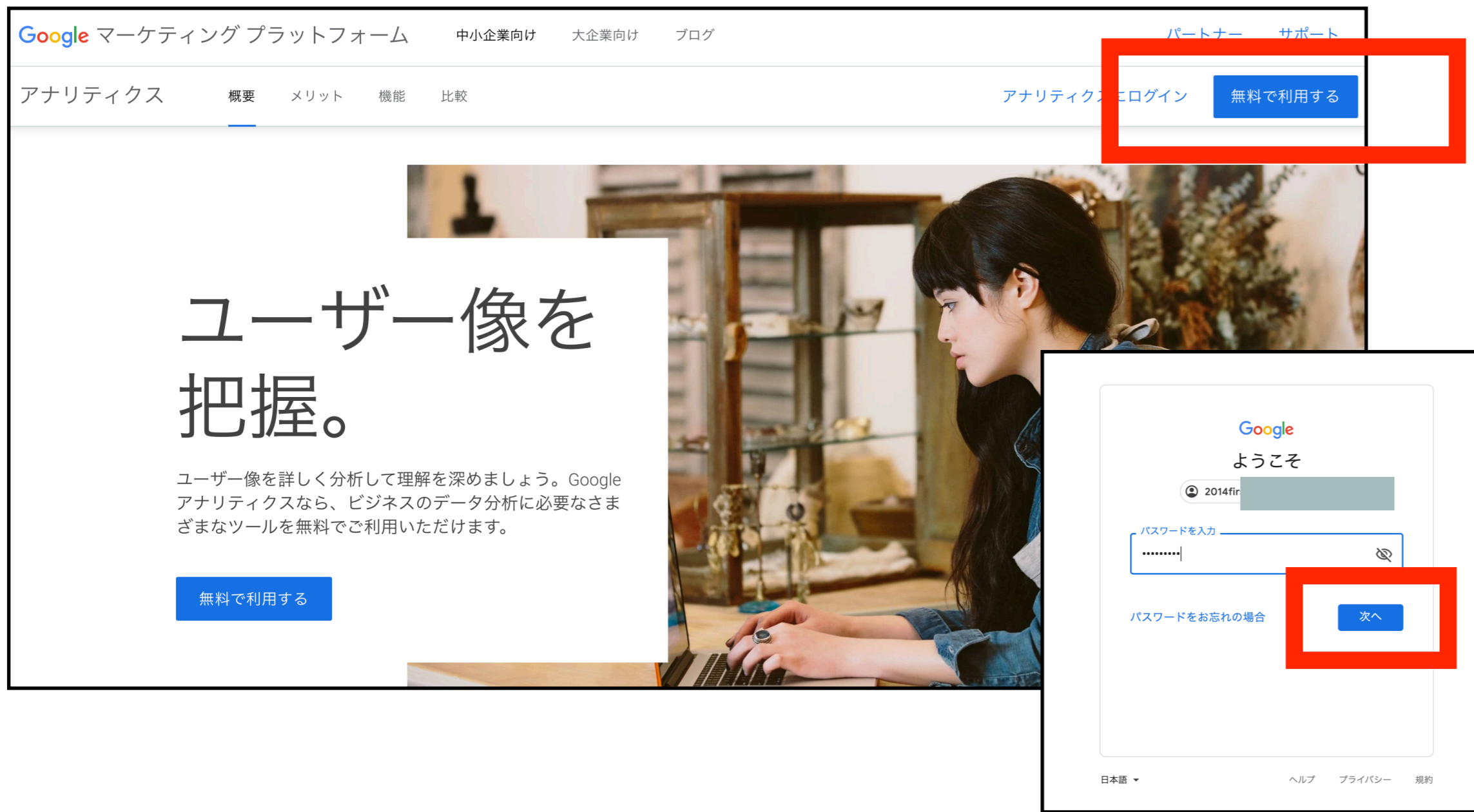
- 1 Googleアナリティクスの設置
- 2 自動バックアップの仕組み作り
- 3 検索エンジンの掲載を許可する
- 4 ウィジェットの設定とサイドバナー
- 5 バックアップを復元する

1 GOOGLEアナリティクス の設置①

ホームページの改善にはアクセス解析が欠かせません。

公開前に必ずグーグルアナリティクスを設置しましょう。

プラグインのAnalytics Cat – Google Analytics Made Easyを使って連携します。



1 | Googleの「マーケティングプラットフォーム」にアクセス
<https://marketingplatform.google.com/intl/ja/about/analytics/>
サイト内の、
無料で利用するをクリックし、
グーグルのアカウントでログイン
(アカウントが無ければ「アカウントを作成」)



2 | 「無料で設定」をクリック



3 | アカウント名を入力
(自分の名前や会社名にすることが多い)



4 | データ共有設定のチェックはそのままでも構わないので
「次へ」をクリック

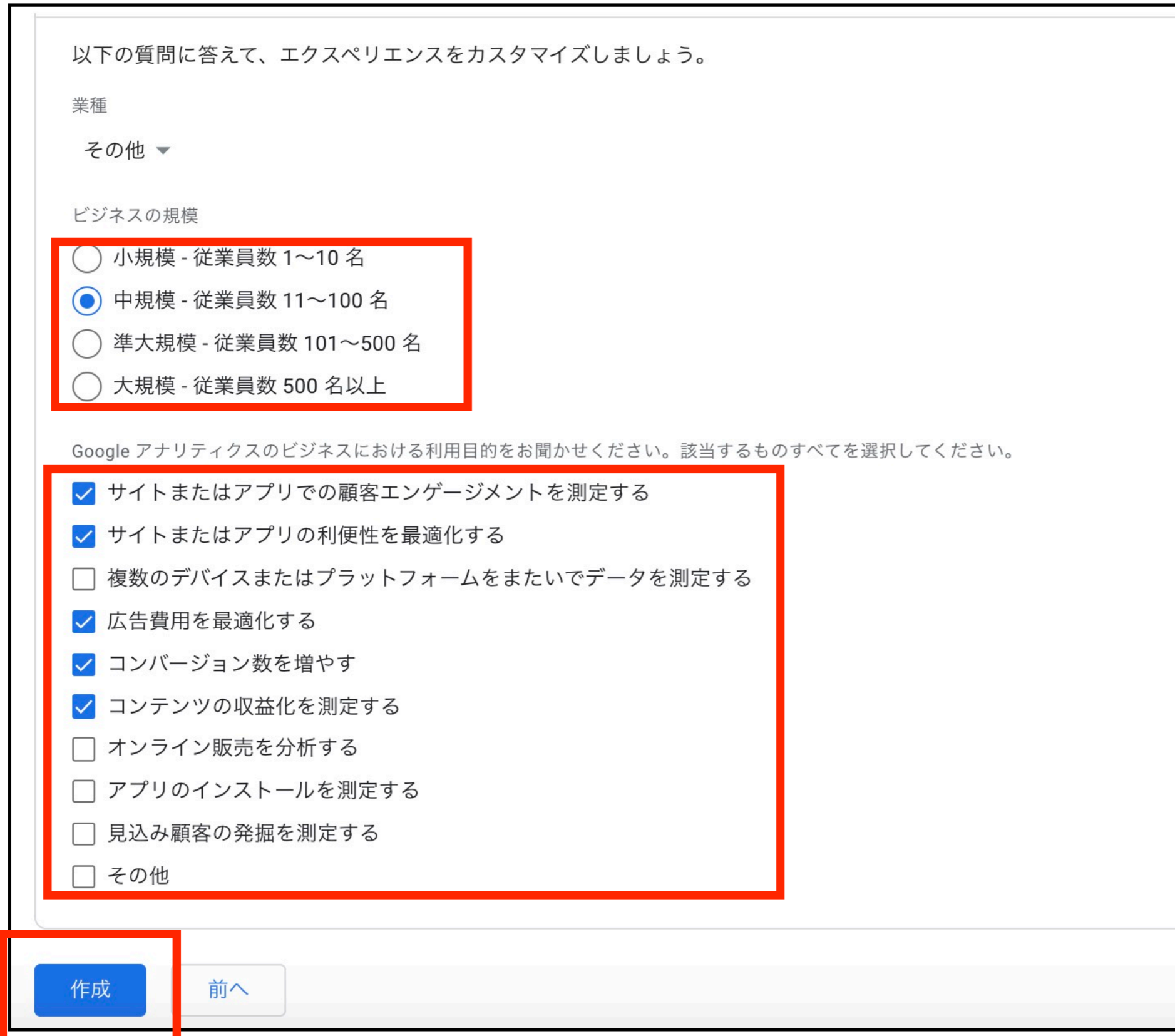


5 | 「プロパティ名」に自分のサイトの名前を入れて、タイムゾーンと通貨は日本を選択し、
「詳細オプションを表示」をクリック

1 GOOGLEアナリティクス の設置②



6 | 右上のスイッチをクリックし、
ウェブサイトのURLを入力
「次へ」をクリックする



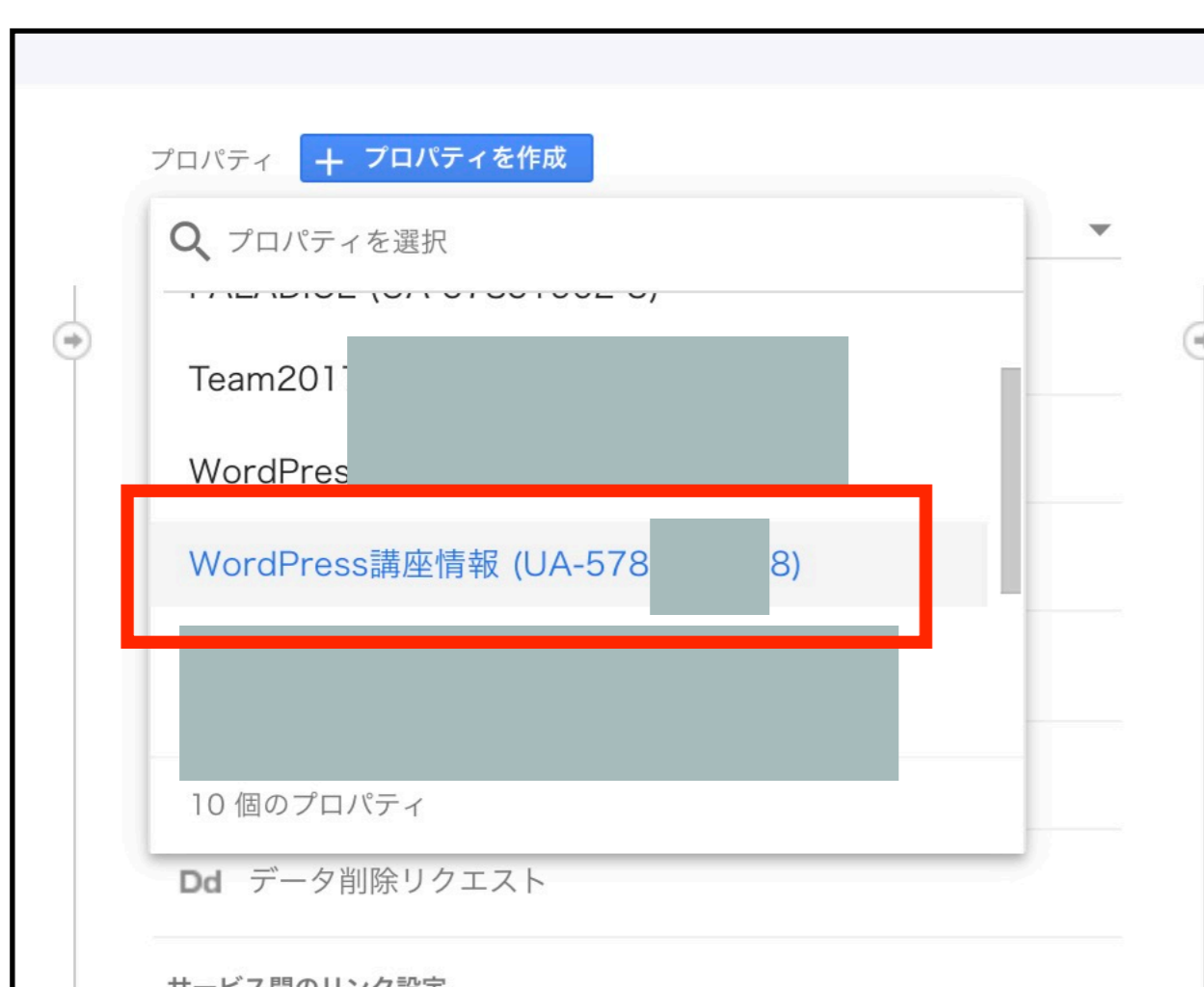
7 | ビジネス情報をAnalyticsを使う
目的を選択し「作成」をクリック
(何を選んでも測定に影響はない
ので適当で大丈夫)



8 | ウェブストリームの詳細は左上の
「X」をクリックして閉じる



9 | プロパティ列の「▼」をクリック



10 | 「サイト名 (UA-○○○○○)」
を選択
※UAで始まっているコードが
書いているものを選ぶ

1 GOOGLEアナリティクスの設置③



1 1 |

「プロパティ設定」をクリック



1 2 |

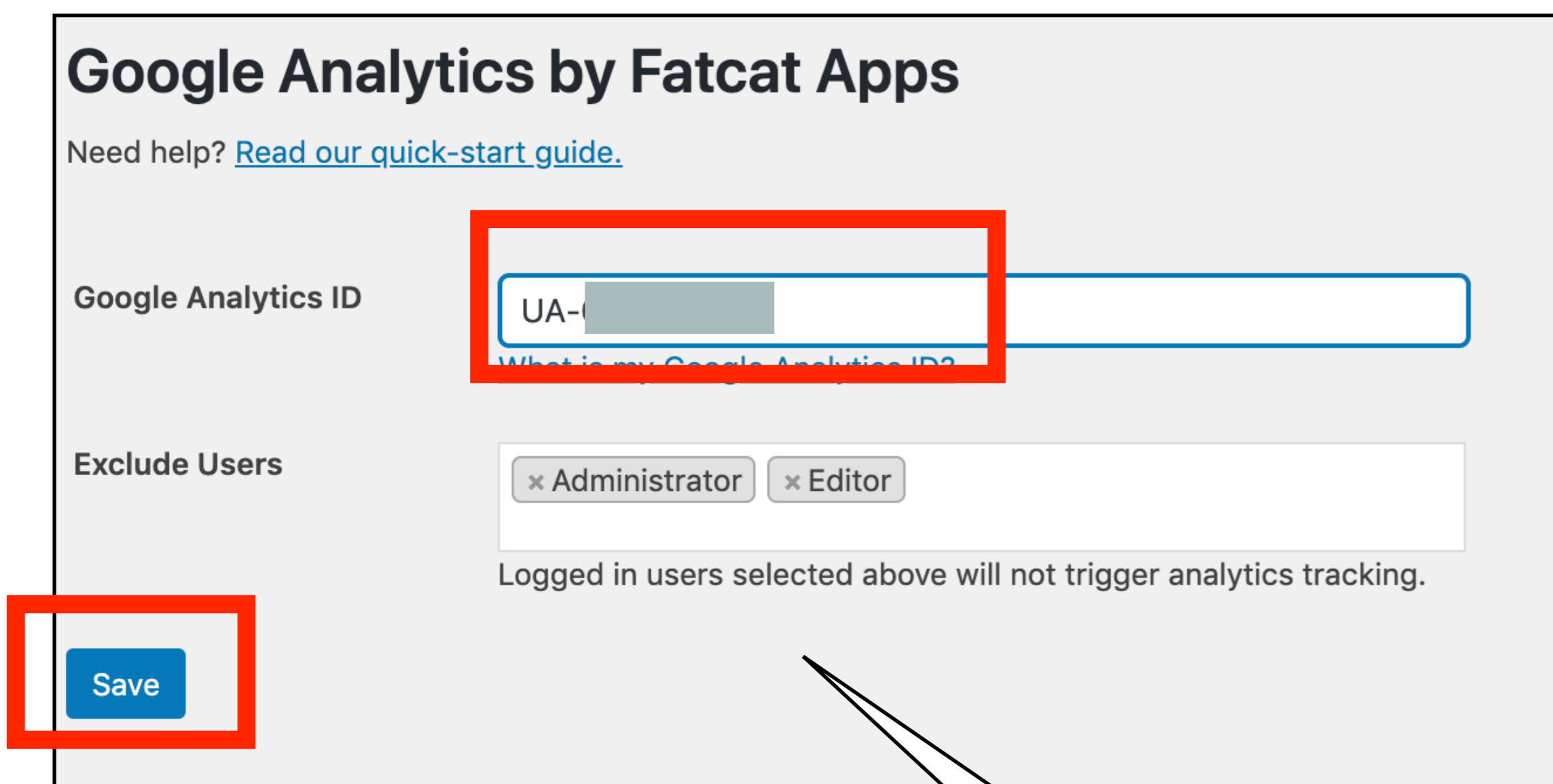
UA-〇〇〇〇〇のコードをコピーして
WordPressの画面に戻る



1 3 |

「設定」→

「Google Analytics Manager」
をクリック



1 4 |

先程コピーしたUAではじまる
IDを「GoogleAnalyticsID」に
貼り付けて「Save」をクリック

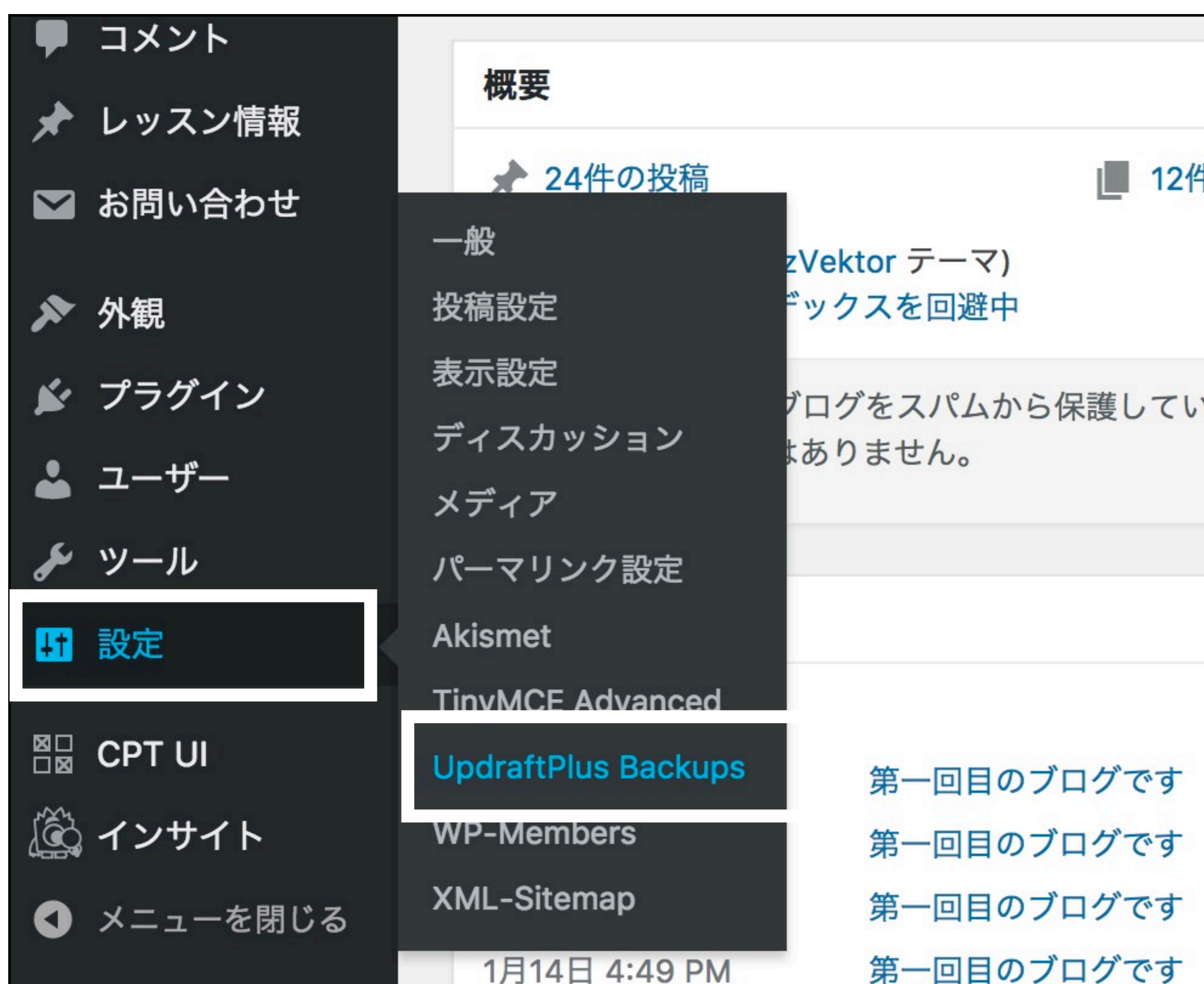
こちらそのままにしておくことでWordPressに自分がログインしているとき
のアクセスがAnalyticsの数字にカウントされなくなる

2 自動バックアップの仕組み作り①

ホームページのバックアップは必ず取りましょう。どれだけ時間をかけて作ったサイトやコンテンツでも、操作ミス・不慮の事故であつという間に消えてしまいます。ここではUpdraftPlusというプラグインとドロップボックスを連携して自動でバックアップを取る仕組みを作ります。

※ドロップボックスのアカウントを持っていない方は、この作業の前に下記よりアカウントを作成してください。

<https://www.dropbox.com/ja/help/8402>



1 | 「設定」 → 「UpdraftPlus Backups」をクリック



2 | タブの中の「設定」をクリック

2 自動バックアップの仕組み作り②

3 |

保存先を選択のDropBoxをクリック

The screenshot shows the UpdraftPlus settings interface. At the top, there are tabs for '現在の状態', 'バックアップ済み (0)', '設定', 'アドバンス ツール', and 'プレミアム/拡張機能'. The '設定' (Settings) tab is active. Under 'ファイルバックアップスケジュール:', there is a dropdown set to '2週間ごと' and a text input 'この多くのスケジュールされたバックアップを保持:' with the value '4'. Below that, 'データベースバックアップスケジュール:' also has a '2週間ごと' dropdown and a '4' input. A note states: 'バックアップが実行される時間を変更するには (例えば昼間はサーバが混雑していて夜間に実行もしくは、より複雑なスケジュールを設定する, [UpdraftPlus プレミアムを使用する](#))'. The '保存先を選択 (tap on an icon to select or unselect):' section displays a grid of storage options: UpdraftPlus Vault, FTP, S3-Compatible (Generic), Amazon S3, Microsoft Azure, OpenStack (Swift), Rackspace Cloud Files, SFTP / SCP, DreamObjects, Google Drive, Google Cloud, Email, Microsoft OneDrive, and WebDAV. The 'Dropbox' option is highlighted with a red box. Below the grid, a link says 'あなたはアドオンで複数の宛先にバックアップを送信することができます。' and the Dropbox logo is shown with the text 'どんなにあなたのサイトがどのように大きくても、UpdraftPlusは一時的にそれを少しアップロードす'.

4 |

ドロップボックスで認証の文章をクリック

The screenshot shows the Dropbox authentication screen. At the top is the Dropbox logo. Below it, the text reads: 'どんなにあなたのサイトがどのように大きくても、UpdraftPlusは一時的にそれを少しアップロードすることはできませんし、タイムアウトによって阻止されません。 - UpdraftPlusがアップロードをチャックサポートしているため、Dropboxが素晴らしい選択です。' This is followed by a 'グッドニュース' (Good News) section: 'Dropboxのサイトの通信を暗号化することができます。あなたはすべてのエラーは、暗号化をどうする表示された場合、より多くの助けを「エキスパート設定」に見えます。' The 'サブフォルダを使用する必要がありますか?' (Do you need to use subfolders?) section explains: 'バックアップは保存されています apps/UpdraftPlus. あなたは、同じDropboxの中にいくつかのサイトをバックアップしているなら、そして、サブフォルダに整理したい場合そのためのアドオンがあります。' At the bottom, a red box highlights the instruction: 'あなたは (下の[変更を保存]をクリックして)、設定を保存した後に、一度ここに戻って来て、ドロップボックスの認証を完了するには、このリンクをクリックしてください。'

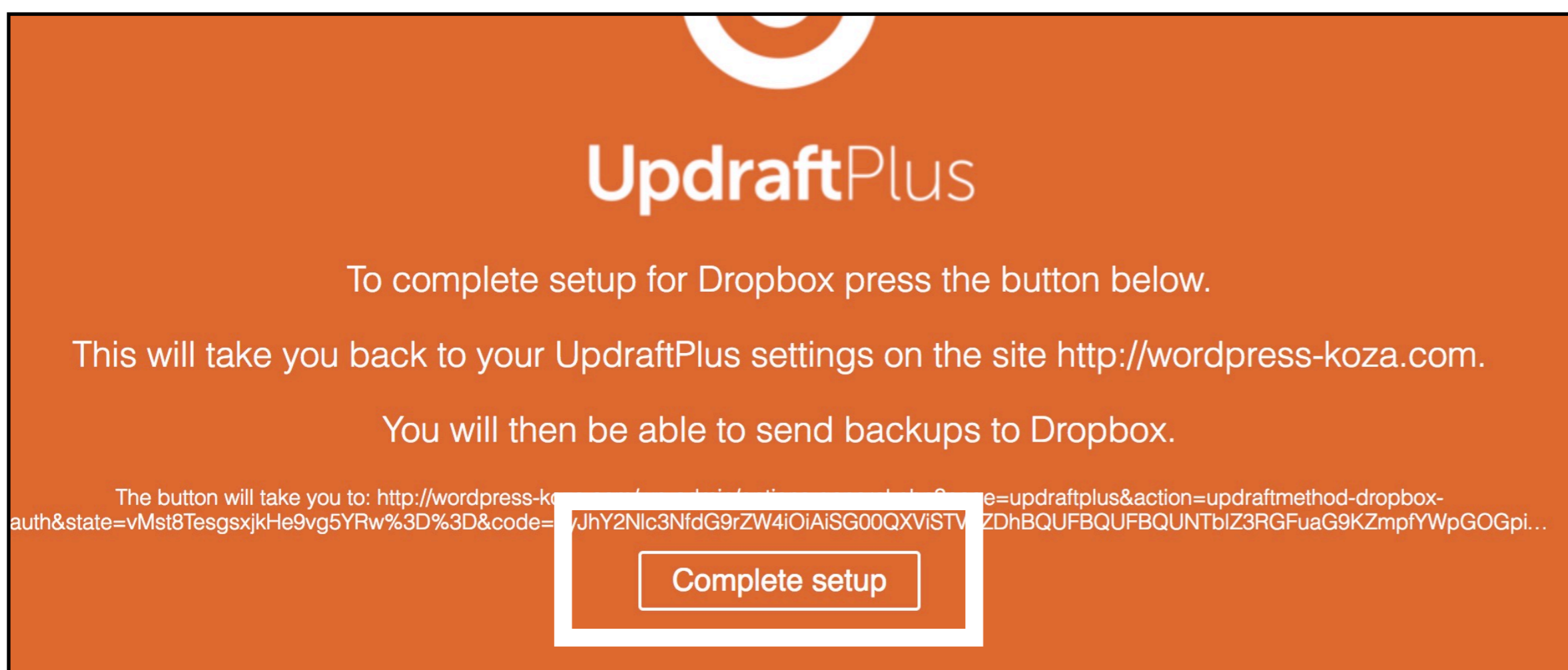
2 自動バックアップの仕組み作り③



5 |
ドロップボックスの
メールアドレスとパスワードを
入力してログインをクリック



6 |
「許可」をクリック



7 |
「CompleteSetup」をクリック



8 |
WordPressに戻ってきたら、
もう一度タブの中の「設定」を
クリック

2 自動バックアップの仕組み作り④

9 |

「ファイルバックアップスケジュール」と

「データベースバックアップスケジュール」の両方のスケジュールを設定

※設定例 「2週間ごと」 バックアップ保持：「4」と設定すると
2週間に1回バックアップが取られ、4つファイルがたまった時点で
一番古いバックアップファイルが削除される。

おすすめは、最低2ヶ月は遡れるようにしておくこと

UpdraftPlus.Com | [プレミアム](#) | [ニュース](#) | [ツイッター](#) | [サポート](#) | [ニュースレターの購読申し込み](#) | [開発者のホームページ](#) | [FAQs](#) | [他のプラグイン](#)

現在の状態 | バックアップ済み (0) | **設定** | アドバンス ツール | プレミアム/拡張機能

ファイルバックアップスケジュール: 2週間ごと この多くのスケジュールされたバックアップを保持:

データベースバックアップスケジュール: 2週間ごと この多くのスケジュールされたバックアップを保持:

バックアップが実行される時間を変更するには (例えば昼間はサーバが混雑していて夜間に実行するか、より複雑なスケジュールを設定する, [UpdraftPlus プレミアムを使用する](#))

10 |

画面最下部の「変更を保存」をクリック

[してください。](#)

エキスパート設定: [エキスパート設定を表示](#) - 設定の必要はありませんが、問題がある場合又はあなたの好奇心が強い場合はさらにいくつかのオプションを表示する為にクリックしてください

UpdraftPlus Premium: easily migrate or clone your site in minutes
Copy your site to another domain directly. Includes find-and-replace tool for database references. [Get Premium](#)

変更を保存

3 検索エンジンの掲載を許可する

最後に、絶対に忘れてはいけない作業です。

この設定を忘れると、いくら検索してもサイトが出てこないという恐ろしい事態になります。

1 |

「設定」→「表示設定」の中の

検索エンジンでの表示のチェックを外し「変更を保存」をクリック

The screenshot shows the WordPress 'Display Settings' page. On the left sidebar, '設定' (Settings) is selected, and '表示設定' (Display Settings) is highlighted. The main content area shows several settings: 'RSS/Atom フィードで表示する最新の投稿数' (10 items), 'RSS/Atom フィードでの各投稿の表示' (Selected: 全文を表示), and '検索エンジンでの表示' (Unchecked: 検索エンジンがサイトをインデックスしないようにする). Below this, the text reads 'このリクエストを尊重するかどうかは検索エンジンの設定によります。' At the bottom, the '変更を保存' (Save Changes) button is highlighted with a red box.

4 ウィジェットの設定とサイドバナー①

ウィジェットという機能で、サイドに画像ボタンやFacebookページのタイムラインを配置したりできます。是非、使い方を覚えましょう。

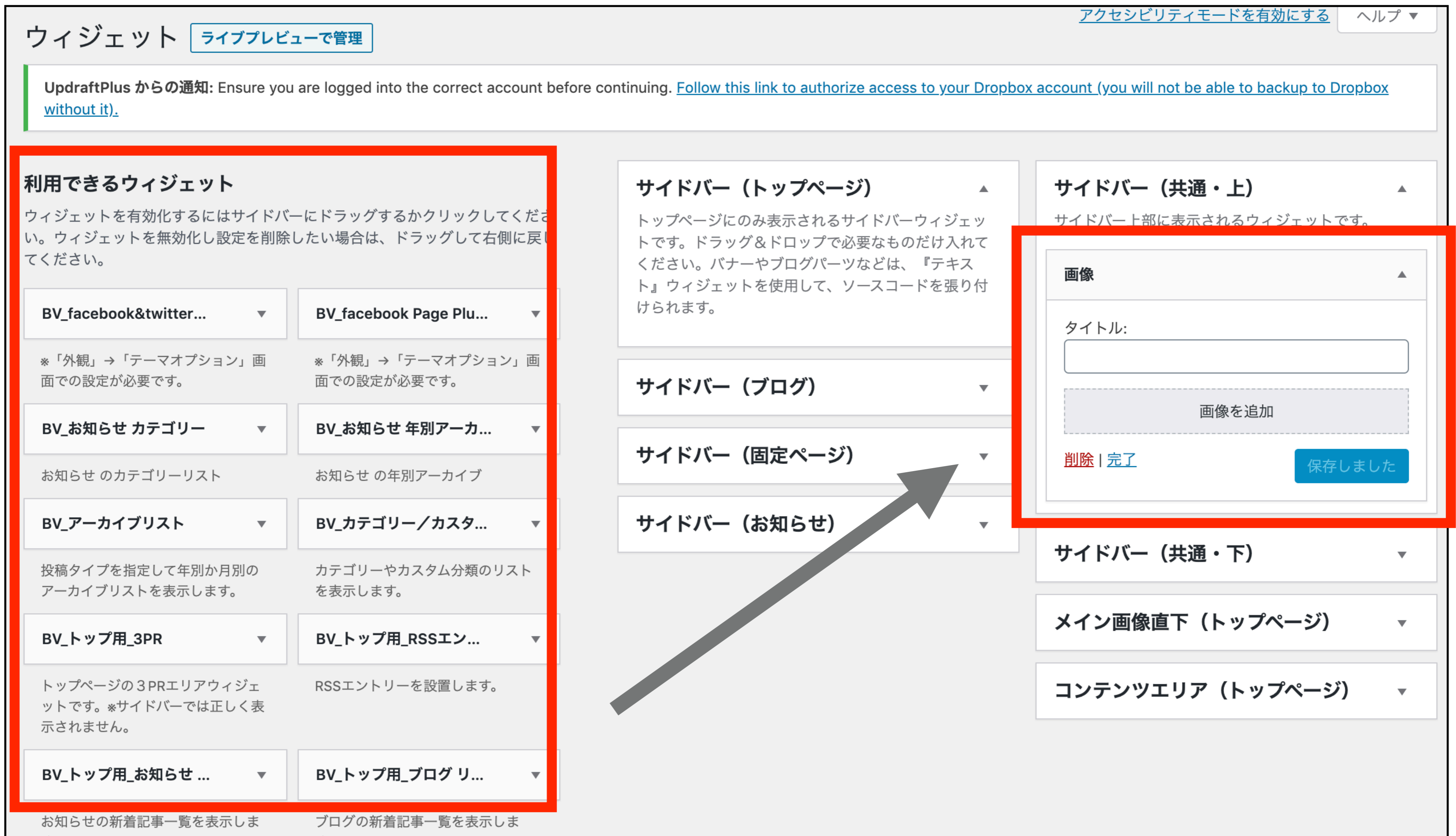


1 | 「外観」→「ウィジェット」をクリック

4 ウィジェットの設定とサイドバナー②

2 |

利用できるウィジェットから「画像」を探して、
サイドバー（共通・上）にドラッグ&ドロップ



3 |

画像ウィジェット内の、
「画像を追加」をクリック

4 ウィジェットの設定とサイドバナー③

4 |

追加する画像を選択、または「ファイルをアップロード」から追加して「ウィジェットに追加」をクリック

画像を追加

ファイルをアップロード メディアライブラリ

メディアを絞り込み

検索

すべての日付

添付ファイルの詳細

blogbn.png
2016年4月26日
37 KB
220 x 94 ピクセル
画像を編集
完全に削除する

代替テキスト

画像の意味を説明しましょう。
画像が装飾目的のみであれば空欄にします。

タイトル

キャプション

説明

リンクをコピー <https://wordpress-koza.cc>

添付ファイル

ウィジェットに追加

5 |

タイトルは空欄でOKです

「リンク先」には画像をクリックしたときに開きたいページのURLを入力し最後に「保存」をクリック

サイドバー (共通・上)

サイドバー上部に表示されるウィジェットです。

画像

タイトル:

画像を編集 画像を置換

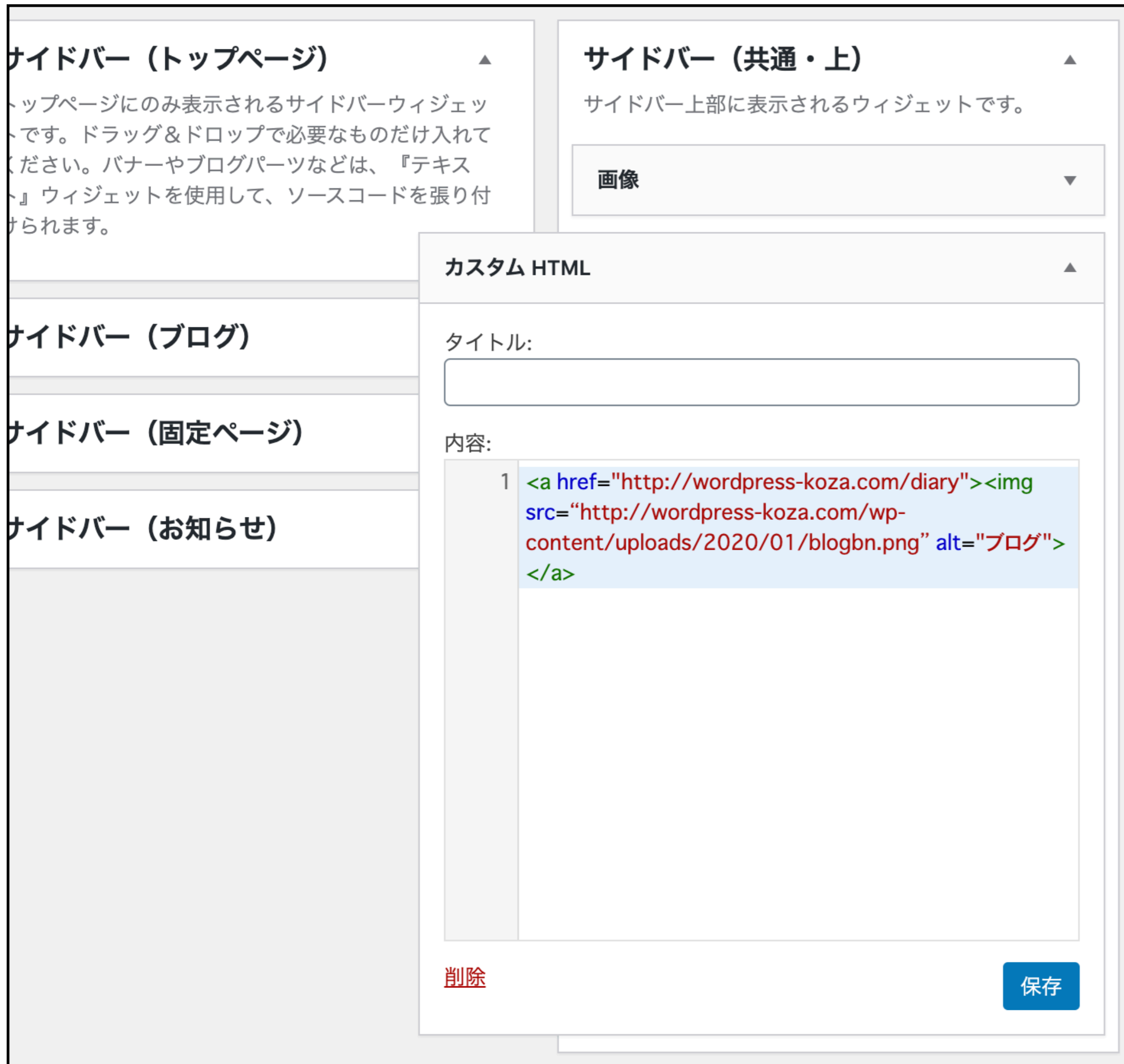
リンク先:

<https://wordpress-koza.com/blog>

削除 保存

4 ウィジェットの設定とサイドバナー⑤

◎サイドにHTMLを埋め込みたいときは「カスタムHTML」というウィジェットを使う。FacebookページやTwitterのタイムライン、アフィリエイトリンク、広告などをサイドに埋め込みたいときも「カスタムHTML」ウィジェットを使う



「カスタムHTML」というウィジェットを追加してHTMLを入力する

バナー画像を表示するためのHTML

```
<a href="画像をクリックした時に開くページのURL"></a>
```

例

```
<a href="http://wordpress-koza.com/diary"></a>
```

4 ウィジェットの設定とサイドバナー⑥

◎ 「カスタムHTML」 ウィジェットで、
下記のようなFacebookのタイムラインを埋め込む方法



1 |

Facebookのページプラグインにアクセス

<https://developers.facebook.com/docs/plugins/page-plugin>



4 ウィジェットの設定とサイドバナー⑦



2 | FacebookページのURLを入力



3 | 「コードを取得」をクリック

4 | 「IFrame」をクリックして、出てきたコードをコピーする



4 ウィジェットの設定とサイドバナー⑧



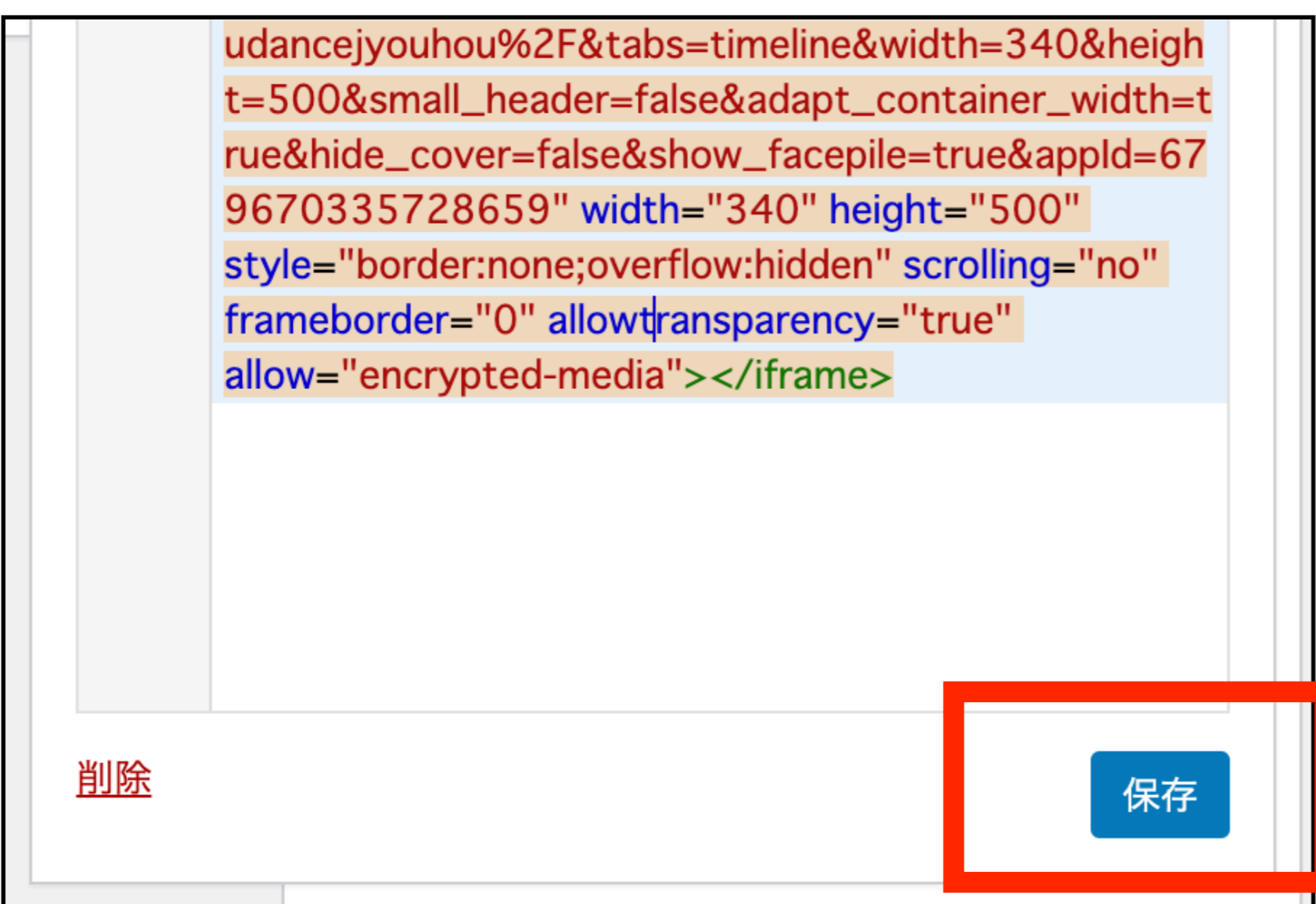
5 |

WordPressのウィジェットの画面に戻り、「テキスト」ウィジェットの中にコピーしたコードを貼り付ける。このときエラーが出たら

「allowTransparency」の「T」を小文字の「t」に修正する。

※サイズ調整について

コードの中に、width=340 height=500と書かれている箇所が2箇所あります。このwidthは幅、heightは高さをそれぞれ表しているのので、数値を書き換えることで、サイズ調整ができます。



6 |

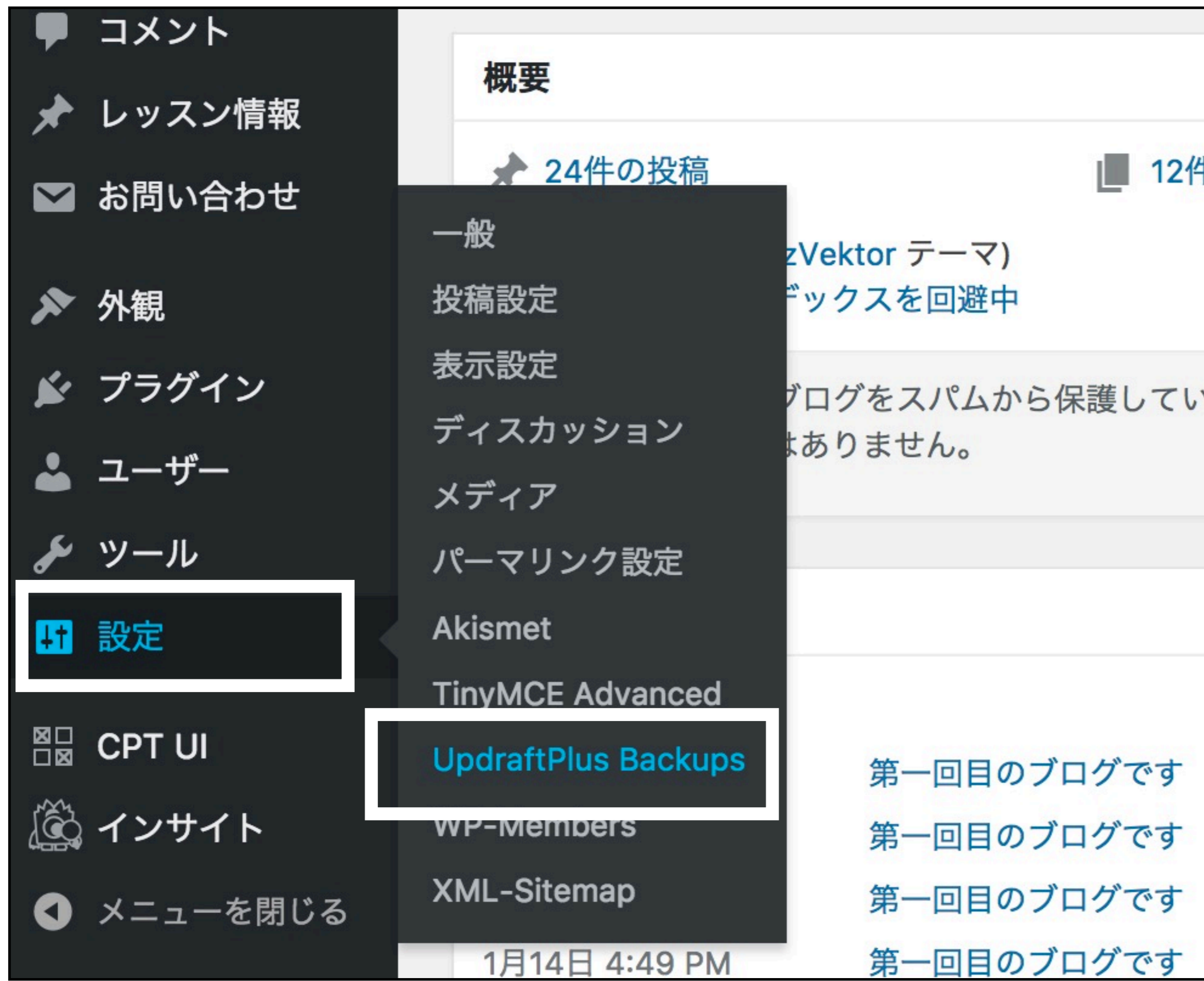
エラーが解消されたら「保存」をクリックする

Facebookのタイムラインが表示される

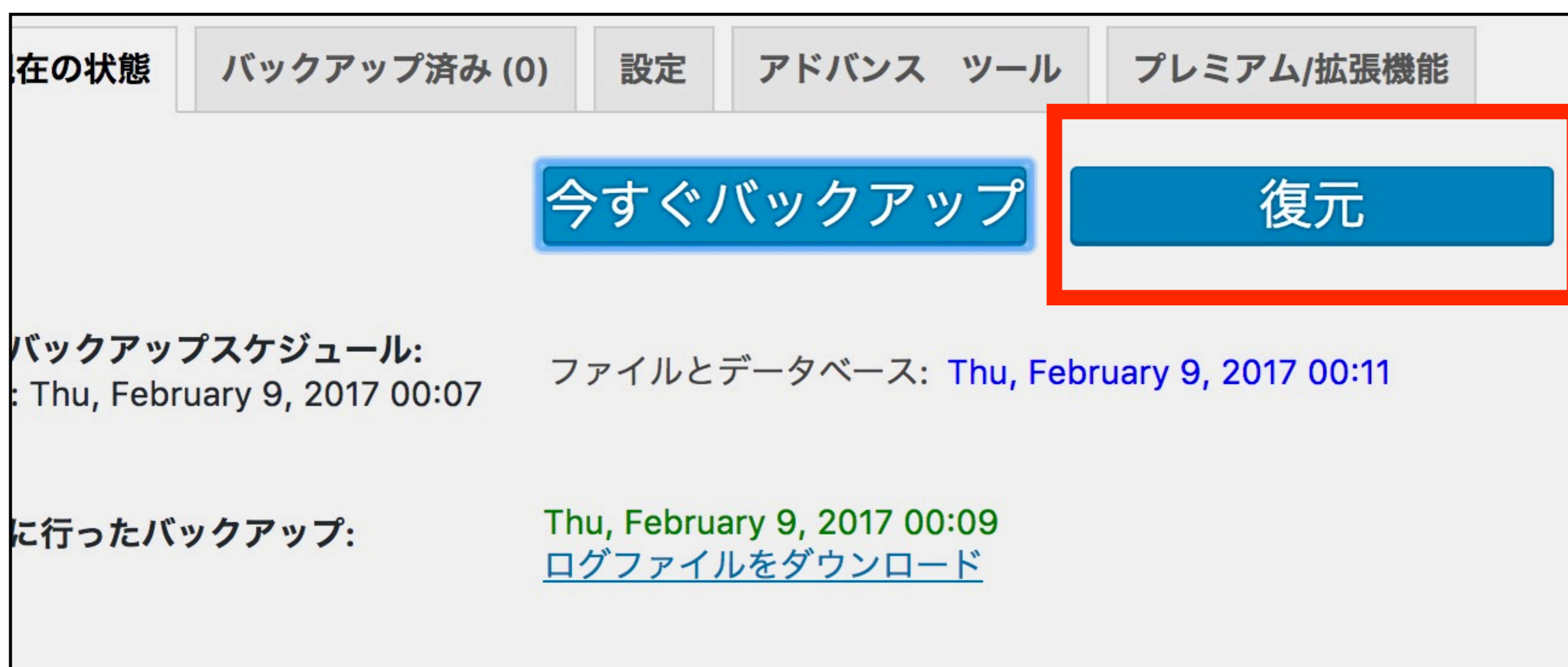


5 バックアップを復元する①

あまり望ましくはないですが、サイトに万が一のことがあった場合、バックアップを復元して、元のサイトに戻します。今回はその手順を解説します。



1 | 「設定」 → 「UpdraftPlus Backups」をクリック

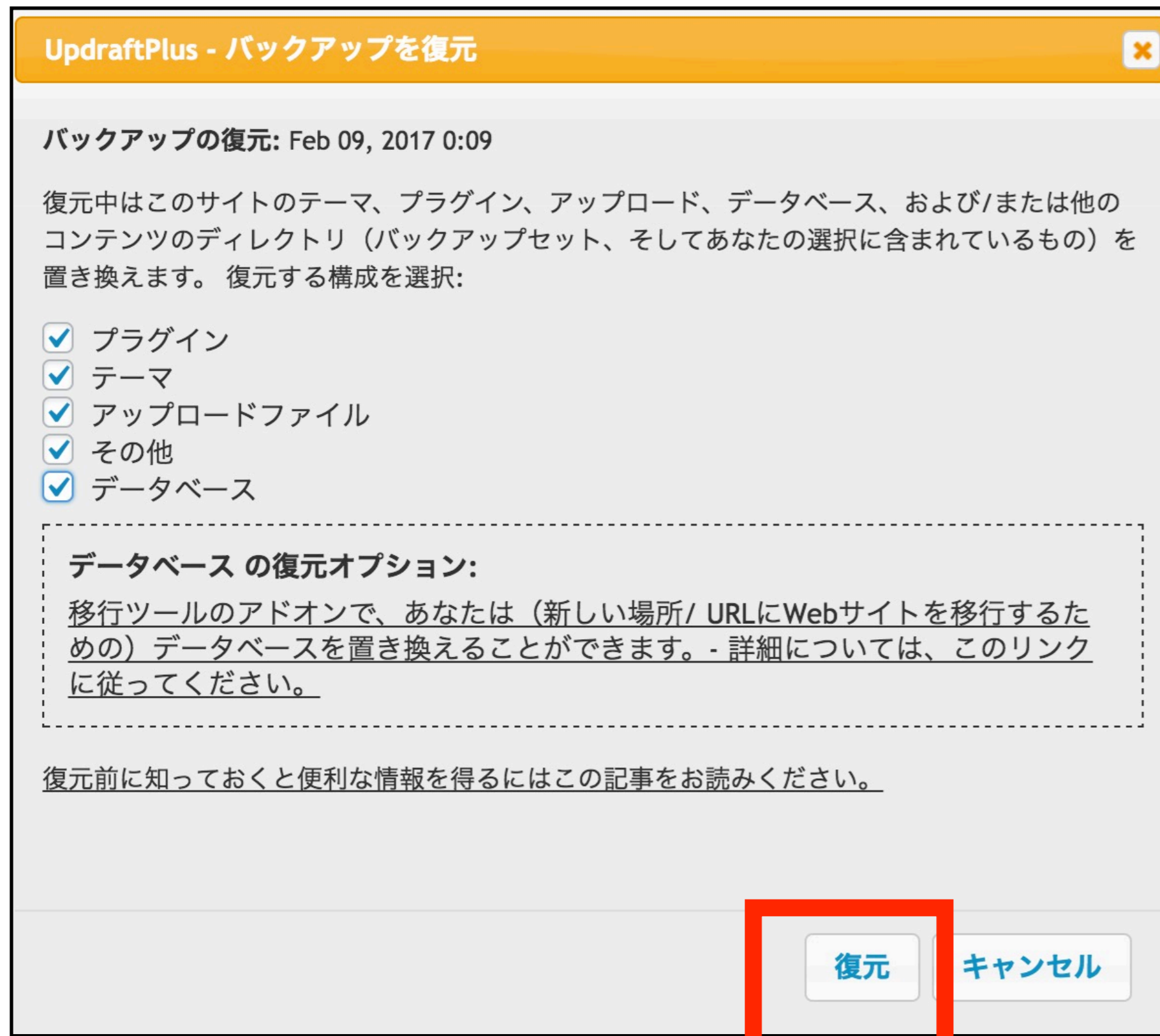


2 | 「復元」をクリック



3 | 戻したいバックアップの日付を確認して、「復元」をクリック

5 バックアップを復元する②



4 | 復元する項目にチェックを入れて、
(基本は全部チェックでOK)
「復元」をクリック



5 | 左図のメッセージが出たら、
再度「復元」をクリック

復元が始まったら、
画面を閉じたりなど絶対にしないこと！



6 | 完了すれば、左図のメッセージが出る